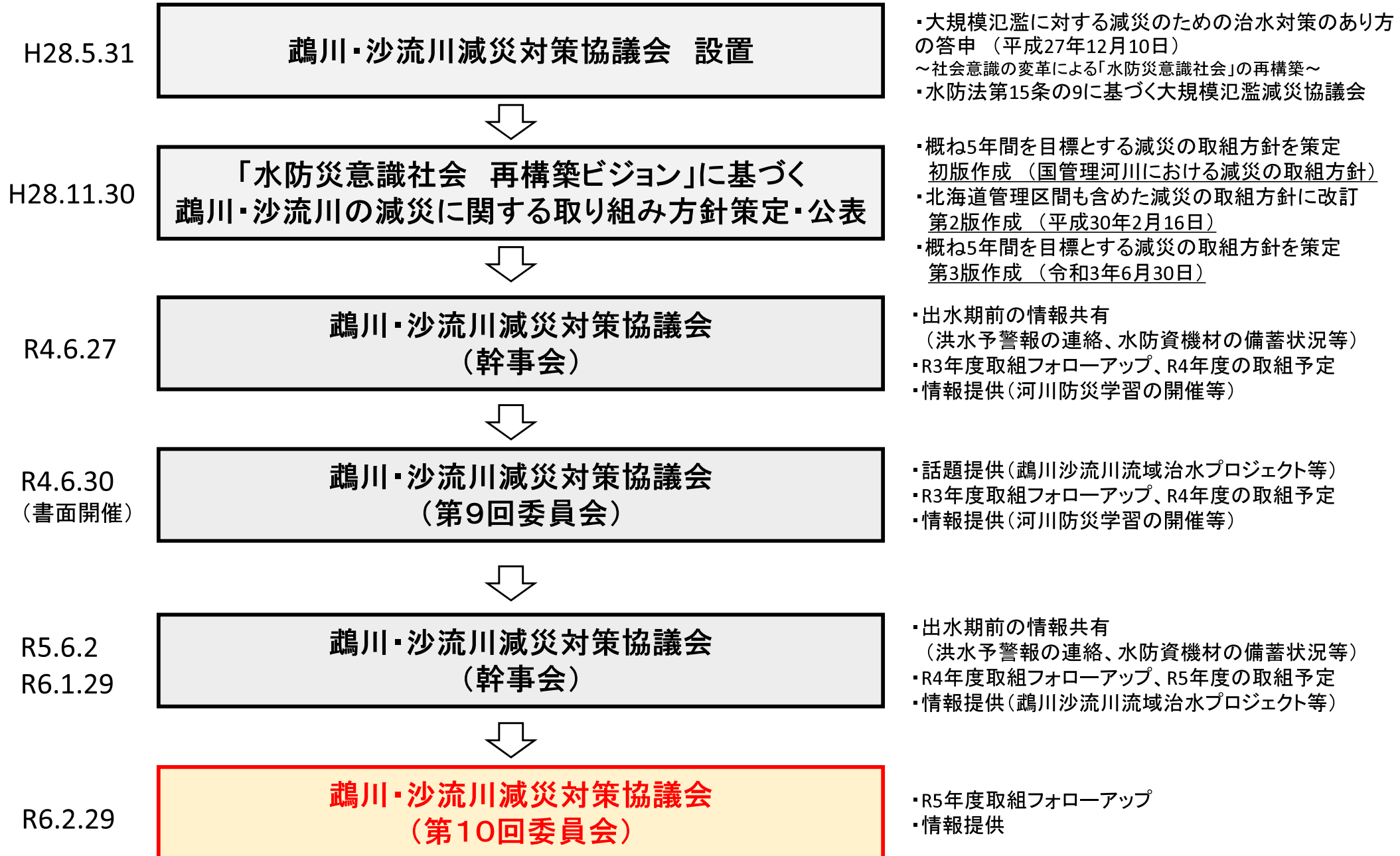


鷗川・沙流川減災対策協議会 の経緯について



鵠川・沙流川減災対策協議会 構成機関と対象河川

(構成機関)

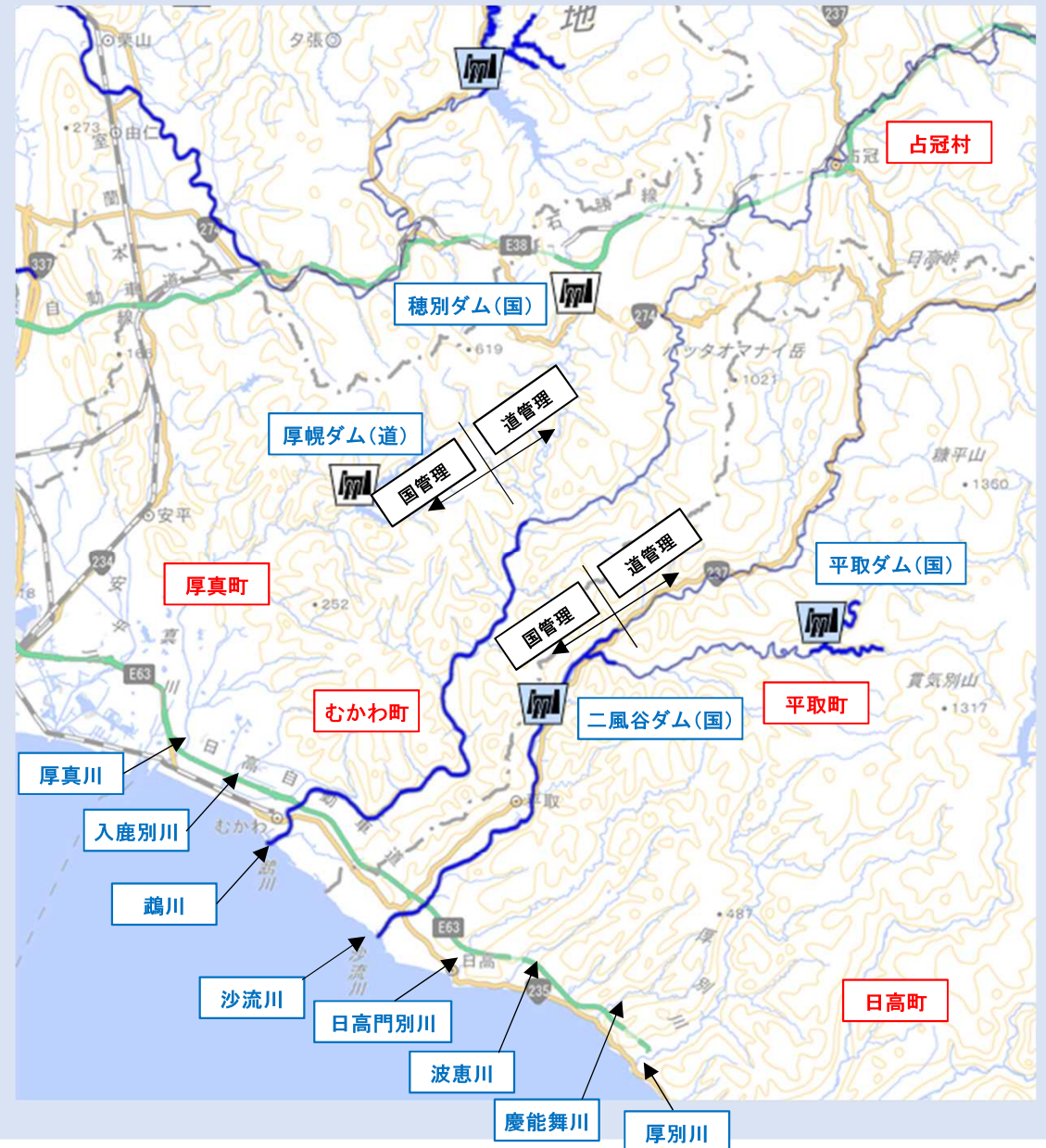
- ・室蘭開発建設部
- ・室蘭地方気象台
- ・旭川地方気象台
- ・胆振総合振興局
- ・上川総合振興局
- ・日高振興局
- ・むかわ町
- ・厚真町
- ・占冠村
- ・日高町
- ・平取町
- ・北海道警察
- ・北海道旅客鉄道 株式会社
- ・北海道電力 株式会社

(対象河川)

鵠川水系、厚真川水系、入鹿別川水系、

沙流川水系、日高門別川水系、波恵川、

慶能舞川水系、厚別川水系



①短時間の水位上昇により迅速な避難を要する

- ・ 鵜川は、平成4年洪水では、はん濫注意水位から最高水位まで約2m上昇するのに約6時間。
- ・ 上流部では、占冠村市街が山に囲まれた盆地に位置することに加え、山間から流入する中小河川により、大規模洪水時には市街地、低平地の田畑などが広範囲に浸水するおそれがある。
- ・ 北海道が管理する厚真川、入鹿別川においては、降雨が河川に到達するまでの時間が短く、水位上昇量が大きい特徴があり、一度水が溢れると河川周辺に甚大な被害が発生するおそれがある。
- ・ 水位上昇が速いため、迅速な情報収集・伝達が必要。

②町内・村内の各居住地区が分断、孤立する

- ・ 鵜川に沿ったむかわ町市街地と穂別市街地の上下流を結ぶ道路（道道74号穂別鵜川線等）が浸水・土砂崩れにより通行止めになることが多く（平成18年8月洪水等）、1m以上浸水するおそれがある。
- ・ 鵜川は、山間部を細長く流れ、狭隘な河岸段丘上の平地が主な生活の場。大規模水害時には、その平地の大半が浸水し、各居住地区が分断、孤立するため、能動的な避難行動を促すための取組や、適切な場所への避難誘導が必要。
- ・ 鵜川では近年、平成4・13・15・18年洪水のように計画高水位を超える洪水が頻発している。分断、孤立する各居住地区における迅速な水防活動が必要。
- ・ 厚真川では、中流部に厚真町市街地、下流部に上厚真市街地が形成。

③氾濫による基幹産業（高収益農作物等）への影響

- ・ 家屋のほか、稲作に加えて急成長しているハウス栽培（レタス・トマト等）等の町の基幹産業への影響が大きく、社会経済活動の早期復旧に向けた効率的な排水活動が必要。



H4. 8穂別地区市街部浸水



H13. 9道道米原田浦線冠水



H18. 8道道穂別鵜川線土砂崩れ



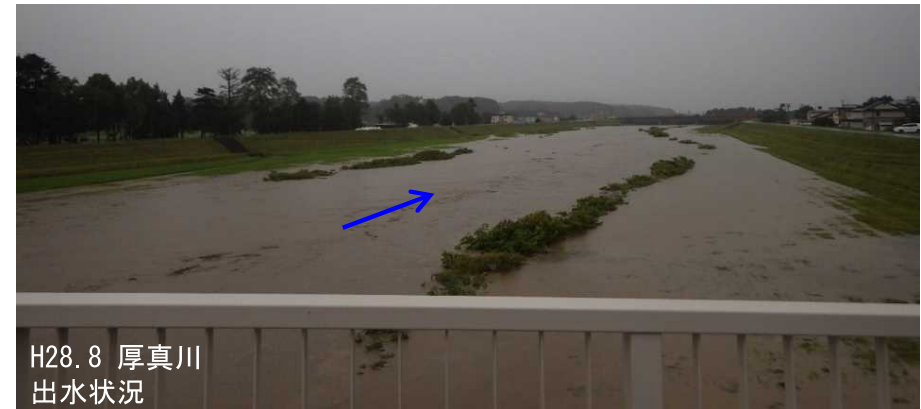
H28. 8入鹿別川内水氾濫

鵜川、厚真川、入鹿別川の水害での主な特徴

第10回 鵜川・沙流川減災対策協議会



H28.8 鵜川支川穂別川
農地冠水



H28.8 厚真川
出水状況



H28.8 鵜川支川穂別川
家屋浸水



H28.8 厚真川
農地冠水



H28.8 入鹿別川
内水氾濫

■ 5年間で達成すべき目標

鵜川、厚真川、入鹿別川の大規模水害に対し

「洪水による交通途絶、集落の孤立化から地域を守る」

「迅速・確実な避難を目指す」「基幹産業への影響を最小化にする」

※大規模水害・・・想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※交通途絶、孤立化・・・山間部を細長く流れる狭隘な生産空間の地形特性から、洪水氾濫に伴う道路の交通途絶や分散している各居住地区の集落が孤立する状況

※地域を守る・・・各居住地区の情報の収集・伝達を行うとともに、堤防決壊を遅らせるための水防活動の強化や、避難行動に備えた備蓄資材の充実等を図る

※迅速・確実な避難・・・流域住民が予め避難経路・避難場所を把握し、事前及びリアルタイムの防災情報等入手し、避難勧告等に基づき避難を行う

■ 上記目標達成に向けた3本柱の取組

鵜川、厚真川、入鹿別川において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水氾濫を未然に防ぐ対策に加え、下記の取り組みを実施。

1. 分断・孤立する地域特性や迅速かつ確実な避難のための避難行動に関する取組
2. 社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組
3. 社会経済活動の早期復旧のための取組

沙流川、日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川の水害での主な特徴

第10回 鶴川・沙流川減災対策協議会

①短時間の水位上昇により迅速な避難を要する

- ・ 沙流川は、平成15年洪水では、はん濫注意水位から最高水位まで約4.2m上昇するのに約8時間。
- ・ 上流部では、日高町（日高地区）が山に囲まれた盆地に位置することに加え、山間から流入する中小河川により、川に近接する住宅、畑等が広範囲に浸水するおそれがある。
- ・ 北海道が管理する日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川においては、降雨から流出までの時間が短く、時間あたりの水位上昇量が大きい特徴があり、一度水が溢れると河川周辺に甚大な被害が発生するおそれがある。
- ・ 水位上昇が速いため、迅速な情報収集・伝達や、上下流で連携した水防活動が必要。

②一度氾濫すると浸水が広範囲に生じる

- ・ 沙流川は、山間部を細長く流れ、狭隘な河岸段丘上の平地が主な生活の場。大規模水害時には、その平地の大半が浸水し、特に、平取町から日高町富川までつながる一つの氾濫域のため広い区間で浸水し、河川に沿った道路（国道237号等）は1m以上浸水するおそれがあることから、能動的な避難行動を促すための取組や、適切な場所への避難誘導、迅速な水防活動が必要。
- ・ 日高門別川の下流部に門別市街地、厚別川の下流部に厚賀市街地が形成されている。

③氾濫による基幹産業（高収益農作物等）への影響

- ・ 家屋のほか、稲作に加えて成長を続けているハウス栽培による「トマト」、軽種馬生産等の基幹産業への影響が大きく、社会経済活動の早期復旧に向けた効率的な排水活動が必要。



H15. 8沙流川下流の状況



H15. 8沙流川下流の状況



H18. 8平取町荷菜地区の浸水状況



H28. 8沙流川上流の状況

沙流川、日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川の水害での主な特徴

第10回 鷗川・沙流川減災対策協議会



■ 5年間で達成すべき目標

沙流川、日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川の大規模水害に対し
「迅速・確実な避難を目指す」「広域的な氾濫から地域を守る」
「基幹産業への影響を最小化にする」

※大規模水害・・・・・・・・想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※迅速・確実な避難・・・・・・・・流域住民が予め避難経路・避難場所を把握し、事前及びリアルタイムの防災情報等を入手し、避難勧告等に基づき避難を行う

※広域的な氾濫・・・・・・・・山間部を細長く流れる狭隘な生産空間の地形特性から、特に平取町から日高町富川までの広域的な区間で氾濫が広がる状況

※地域を守る・・・・・・・・上下流の自治体等の連携した情報の収集・伝達を行うとともに、堤防決壊を遅らせるための水防活動の強化や備蓄資材の充実、高速な氾濫流による家屋流出に備えた立ち退き避難の促進等を図る

■ 上記目標達成に向けた3本柱の取組

沙流川、日高門別川、波恵川、慶能舞川、厚別川において水災害防止を目的として河川管理者が実施する堤防整備等の洪水氾濫を未然に防ぐ対策に加え、下記の実施を実施。

1. 広域的に氾濫する地域特性や迅速かつ確実な避難のための避難行動に関する取組
2. 社会経済被害軽減のための的確な水防活動に関する取組
3. 社会経済活動の早期復旧のための取組